



医療法人社団哺育会  
白岡中央総合病院

病院  
理念

「安全で確実な  
わかりやすい医療」

kizahashi

# きざはし

# 101

2022年1月15日発行

# 賓



※写真撮影時のみマスクをはずしています

# Happy New Year

I look forward to your continued good will in the coming year.



# 新年のご挨拶

院長 橋本 視法

## 新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

また、新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた方々には謹んでお見舞い申し上げます。

昨年は世界中が新型コロナウイルス感染拡大との戦いの一年でした。国内では緊急事態宣言の発出が繰り返され、夏の東京五輪・パラリンピックもほぼ無観客での開催となりました。国内ではワクチン接種が進んだこともあり、感染状況は現在ようやく小康状態をむかえています。また異常気象の影響も相変わらず、7月には線状降水帯が山陰地方、九州南部の大規模豪雨災害をもたらし、静岡県熱海市内では大規模な土石流災害が発生しました。米国ではバイデン大統領就任により国際協調へ急転換する動きを見せました。国内では突然の衆議院選挙と岸田内閣誕生。内外とも、激動の中がありました。

私たち白岡中央総合病院は、今年度は、『窮則変 変則通 Resilience through Change』をスローガンにこの窮まった状況を変化することにより打開していこうと呼びかけました。この方針の下、私たちは昨年はコロナ疑似患者に加えコロナ患者の入院受け入れを開始しました。また、4回目の病院機能評価を受審し無事優秀な成績で認定されました。しかし病院も開設43年となり老朽化、狭小化が著しくなっており、この状況を打開するため、8月には病院新築移転に向けて白岡市との間で協定書を締結することができました。いよいよ、移転に向けて地権者との折衝など具体的に動き出しました。一方では、来年度の診療報酬改定に向けて現在議論が進んでいます。新型コロナ感染状況もまだまだ予断を許しません。もはやアフターコロナを期待するのではなく、ウィズコロナで働き方や診療モデルも変革しながら良質な医療を提供していくことが一層重要なことになるだろうと考えています。新病院移転実現まではまだまだ困難や障害が山積みですが素晴らしい新病院を作るため職員全員の力を結集して参りたいと思っています。

この1年、健康にはくれぐれも留意され、元気に活躍されることを期待しています。皆さまのご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。本年も皆さまのご指導とご支援をよろしくお願いいたします。



## 新年あけましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
旧年中は、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

事務長 立川 敏章

一昨年から続く新型コロナウイルスの感染状況は、国内では落ち着きを見せ始め、日常生活に段々と活気が戻りつつありますが、まだまだ予断を許さない状況です。

病院運営におきましても、有事の際の感染対策は当然ながら、ウィズコロナの時代をどのように対応をしていくかが、大きな課題となります。医療におけるICT化を上手に活用するとともに、改めて人と人のつながりの大切さや感謝の気持ちを一番に置き、安心・安全で質の高い医療を今後も提供して参りたいと思います。

昨年、白岡市と病院新築移転に向けた協定を結び、移転計画も徐々に進み始めております。

地域医療の更なる充実を図るべく、盤石な体制を整えていきたいと思っております。

本年も皆さまのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 謹賀新年

2022年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。  
旧年中は、温かいご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

看護部長 須崎 香織

昨年1年間もやはり新型コロナウイルスに関連する行動の自粛や様々な制限で精神的にも大きな負担となっていたことと思います。私自身も以前の生活に戻ることは難しいかもしれないという漠然とした不安がありました。院内や保育室などでクラスターが発生してしまったらと、出来る限りの感染対策は実施していても常に不安が頭をよぎる日々でした。

その中、9月下旬には感染者数が減少し様々な規制が緩和されました。少しだけホッとして周囲に目を向けると木々の葉が赤や黄色に色づき始めており、心を癒される思いになりました。皆さまにとってもこの規制緩和の時期に少しでもリフレッシュできたことを願うばかりです。病院では万全の感染症対策と一般診療の安全な継続を目指し日々努力している所です。看護部においても、安全安心を心がけ、そして温かい心の通った看護を実践できるようにより一層の努力をして参ります。本年も何卒宜しく願い申し上げます。

# 2年連続の全国大会 優秀賞受賞!!



日本医師事務作業補助研究会 第10回全国大会において「補装具作成時における医師事務作業補助者の役割とその効果」を発表させて頂きました。装具作成の一連の流れにMC(メディカルクラーク)が介入することにより、医師をはじめ多くの職種の負担軽減に繋がったという内容で優秀賞を受賞することが出来ました。

今後も医師事務作業補助者として、医師の負担軽減や病院に貢献できるよう業務に励んでいきたいと思います。

メディカルクラーク課 副主任 岡田 郁里



※写真撮影時のみマスクをはずしています

(左から) メディカルクラーク課 副主任 岡田 (第10回大会受賞)、メディカルクラーク課 係長 田口 (第9回大会受賞)

# レスパイトケア 利用しませんか？

介護者の負担を軽減するために一時的に患者さまに入院して頂くのがレスパイト入院です。冠婚葬祭や日々の介護者の疲れを癒すなど、様々な目的でご利用頂いております。

## 外部から入院までのながれ

- 1 お電話にて地域医療・連携センターへご相談ください。
- 2 ご希望や身体の状態を確認させていただき、当院での受け入れができる状態かどうかの判断をさせていただきます。
- 3 入院が決まったら、ケアマネやかかりつけ医からの情報提供書の提出をお願いします。



お問い合わせはこちらまで相談からでもお気軽にどうぞ！

地域医療・  
連携センター

電話 ① 0480-93-7850 ② 0480-92-0799

平日 9:00~17:30

土曜 9:00~13:00



医療法人社団哺育会  
白岡中央総合病院

白岡駅西口下車  
徒歩 7 分

## アンケート調査のお礼

きざはし100号掲載のアンケート調査ご協力ありがとうございました。頂いたご意見につきましては、より読みやすく、わかりやすい広報誌となるよう誌面づくりの参考にさせていただきます。

プレゼント企画に参加頂いた方につきましては、抽選の後30名様に対し、2月中を目安に当選者に郵送にてプレゼントをお送りいたします。お楽しみに。



## コラム きざはし：医療安全連載第5回



# 医療安全における地域

今回の医療安全コラムでは、医療安全における地域連携の実際について解説したいと思います。当院は専従の医療安全管理者を配置し、医療安全に関する高い基準を満たしているということで診療報酬上も評価されています。それだけでなく、医療安全対策について地域の医療機関と連携し、相互評価や情報交換できる体制をとっていることも『医療安全対策地域連携加算』という形で評価を受けています。当院が『医療安全対策地域連携加算』で連携している施設は、上尾中央総合病院(上尾市)、伊奈病院(伊奈町)、笠幡病院(川越市)の3病院です。このうち伊奈病院の方々が当院を訪問され、お互いの医療安全を向上させるための情報交換と評価を実施しましたのでご報告します。

伊奈病院からは専従の医療安全管理者の他、看護師、保健師、診療放射線技師、診療情報管理士、総務人事課事務職員の合計6名が訪問され、当院は医療安全管理者と医療安全管理課専従事務職員の2名が主となって対応しました。予め自己評価し提出した点検シートを基に伊奈病

院の皆さまにチェックしていただきます。

医療安全を推進するために、当院では各種マニュアルを整備するのはもちろん、院内環境やシステムに不具合がないかチェックし、医療安全管理委員会等で検討し改善につなげています。院内で導入しているインシデントレポートによる報告制度に基づき報告された事象については、その要因を分析し再発防止策を検討、実施しています。相互評価はこれら医療安全の取組みが適切に行われているかを第三者の視点からチェックして頂くものです。

書類による評価、部署訪問による評価を実施し、当院の医療安全は適切に実施されており問題点なしとの評価を頂きました。特に、医療安全を推進するチーム活動は、伊奈病院でも取り入れたいと高い評価を頂きました。

これからも白岡中央総合病院は、安全な医療を提供することで患者さまに安心して医療を受けて頂くため日々努力していきたいと思っております。



# 連携の取組み



医療安全管理課課長  
(専従医療安全管理者)

渡邊 幸子

【伊奈病院の方々との情報交換の様子】



# 歩行補助具ってなにがある？

寒さもいよいよ厳しくなって参りましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。リハビリテーション技術科、介護予防チームです。3回目の連載となる今回のテーマは「街でみかける歩行補助具」についてです。

前回の介護予防チーム(きざはし99号)の連載では、「杖」についてご紹介させていただきました。皆さまは杖の他にも歩行補助具があることをご存じでしょうか？今回はリハビリテーションでもよく使用する、ピックアップ歩行器とシルバーカーについてご紹介させていただきます。

ピックアップ歩行器やシルバーカーは、4つの脚(フレーム)や車輪がついている歩行補助具です。両手でハンドルを握って身体を支えることもできるため安定性に優れています。足腰が弱く、杖だけで歩くことに不安がある方におすすめです。また、屋内・屋外問わず使用できるという利点もあります。

歩くことは健康に良いことです。筋力や体力の維持だけでなく脳の活性化にもつながります。適切な歩行補助具を使って歩く機会を増やし、身体や精神の健康を維持しましょう。



歩行補助具にはさまざまな機能や種類があります。ご自分にあったものを選ぶことが大切です。前回の杖と今回の連載を参考に頂き、歩行補助具を選択する際の手助けとなりましたら幸いです。

※移動機能は歩行補助具の選び方や使い方によって大きく左右されます。歩行補助具に関して不安な点や困っていることがございましたら、かかりつけの病院や施設スタッフに相談することもおすすめします。

リハビリテーション技術科 地域包括ケア介護予防チーム

## 歩行補助具の紹介

1

### ピックアップ歩行器



一歩ずつ歩行器を持ち上げて前に進みます。4脚でバランスをカバーできるため安定性が高いです。ただし、両腕で身体を支える力が必要です。

2

### 車輪付きピックアップ歩行器



前輪・後輪がついていて転がしながら進むことができます。後ろに重心がかかるとブレーキがかかります。多少の段差を乗り越えることもできます。

①②は折りたたむことができ、持ち運びに便利です！

3

### シルバーカー



外出の際に長い距離は歩けない、荷物が持てないという方のための手押し車です。荷物を入れられる収納スペースがついていたり、歩き疲れたときに休憩できる椅子になる機能がついています。

4

### 前腕支持型シルバーカー



手足や体幹が不安定で前腕(肘～手)での支持が必要な方に適しています。手の力が不安定でも身体を前に傾けて歩行できます。

参考文献 ・ダスキンヘルスレント 福祉用具総合カタログvol.21  
・国際福祉機器展H.C.R.2018 福祉機器 選び方、使い方 副読本  
一般財団法人 保険福祉広報協会

### ？ 認定看護師とは？

認定看護師とは、高度化・専門分化が進む医療の現場において、日本看護協会が「認定看護分野」ごとに、水準の高い看護を実践できると認定した看護師です。日本看護協会が定める認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格し取得できる資格です。現在21分野が認定看護分野として特定されています。

### ？ 認定看護師ってどんな活動をする看護師？

患者さま、ご家族によりよい看護ケアを提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めています。病院の他、訪問看護ステーションやクリニック・介護保険施設等で活動しています。

### ？ 白岡中央総合病院で働いている認定看護師の看護分野にはどんなものがありますか？

当院では、「糖尿病看護」「がん化学療法看護」「緩和ケア」「認知症看護」「訪問看護」の5分野6名の認定看護師が在籍しております。院内において看護実践、多職種でのラウンドの実施、看護相談への対応など、患者さま、ご家族により良いケアを提供できるよう支援を行っています。

各分野において、専門的な知識・技術を活かし、患者さま、ご家族からの相談に応じ、必要なケアや指導を行わせて頂く看護外来も行っています。診療の一環として主治医の指示のもと行う場合と、症状緩和の目的で患者さまご本人が希望されてご利用頂く場合があります。院内掲示やホームページにおいてもお知らせしております。お気軽にお声かけ下さい。また「きざはし」「認定看護師コーナー」では、今年も各分野の認定看護師が専門分野の情報を発信させて頂きます。活用して頂ける情報になるよう努めて参ります。

緩和ケア認定看護師 高崎 貴子



当院医師からの指示で血糖測定器を  
ご使用中の皆さまへ

毎年の誕生日月は!

# 血糖自己測定器の 保守点検を 実施しましょう



医療機器を安心・安全にご使用頂くために必要なこと



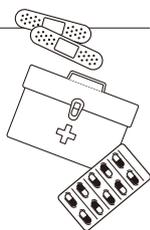
現在ご利用頂いている血糖測定器の保守点検を実施いたします。誕生日の月は、血糖測定器を外来受診時にお持ち頂き、採血の際に注射室スタッフにお渡しください。点検には15分ほどお時間を頂きますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

検査技術科

## まきの消化器内科・外科 クリニック

住所：〒349-0212  
埼玉県白岡市新白岡4-6-13  
ルネ新白岡駅前1階

☎ 0480-91-1234



院長  
牧野博司



診療科目 外科・内科・消化器内科・肛門外科

診療時間 【休診日】水曜日、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	—	●	●	●	—
14:00~16:00	▲	▲	—	▲	▲	▲	—
16:00~18:30	●	●	—	●	●	—	—

▲検査・手術（要予約）

当院は2015年に新白岡駅前に開院したクリニックで、専門である胃腸や肛門の病気に加えて高血圧や糖尿病などの生活習慣病、風邪・花粉症・予防接種などの診療を行なっております。

当院の特徴は、大腸ポリープ切除や肛門手術を日帰り手術で行なっていることです。地域の皆さまに信頼されることを目指し、地域医療の一員として日々の診療に従事しております。

何かお困りのことがあればご相談ください。



tailor shop



Shiraoka Central  
General Hospital

### 編集後記

広報委員会 山口

皆さまのご厚意により、きざはしもうとう101号の大台へと踏み出しました。これまで以上に充実した内容を届けられるように励んでいきます。今後ともきざはしをよろしくお願ひ致します。

used car dealer



医療法人社団哺育会

白岡中央総合病院

〒349-0217  
埼玉県白岡市小久喜938番地12

TEL:0480-93-0661  
FAX:0480-92-8462



Instagram更新中!

目で見て楽しい情報をお届けしています。いいね!フォローお願いします。



Facebook ページ公開中!!

白岡中央総合病院のことを、より身近に感じていただけるようFacebookのページを公開しています。ぜひ、ご覧ください。



白岡中央総合病院 公式ページ

白岡中央総合病院

検索

<https://www.scghp.jp>



きざはし101

発行:白岡中央総合病院/発行責任者:橋本 規法/  
発行日:2022年1月15日/編集:広報委員会